



&lt; R02142081 &gt;

## 注 意 事 項

- 一 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
- 二 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
- 三 解答はすべて解答用紙の所定欄に、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
- 四 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に丁寧に記入すること（左の記入例参照）。所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
- 五 受験番号の記入にあたっては、左の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。読みづらい数字は、採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

(記入例)

5 7 0 0 1 番

↓

万	千	百	十	一
5	7	0	0	1

(数字見本)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 六 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
- 七 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにすること。
- 八 いかなる場合でも解答用紙は必ず提出すること。
- 九 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

近年世界各地で見られるようになったポピュリズムの蔓延まんえんから正統と異端の問題を考えておこう。もし「正統」が大多数の人びとの意見と同義なのだとするれば、ポピュリズムは現代民主主義の「正統」なのだろうか。もし「大衆迎合」という意味の悪しきポピュリズムが「異端」なら、民主主義は異端に乗っ取られてしまった、ということなのだろうか。あるいは、ポピュリズムを悪者扱いするこうした見方こそ浅薄で、大手メディアや既存権力といった体制側の有権者蔑視を露呈するものなのだろうか。

「ポピュリズム」を定義するのは難しい。ポピュリストには右も左もあり、保守派も進歩派もあり、国粹主義者もいれば社会主義者もいて、どのような定義をにしても、それらすべてを一つの定義のもとに包摂することはできないからである。そして、まさにこの点にポピュリズムの固有な特徴がある。ジョージア大学の政治学者カス・ミュデによると、ポピュリズムにはそもそもイデオロギー的な理念の厚みが存在しない。従来のイデオロギーは、全体主義にせよ共産主義にせよ、政治や経済から文化や芸術まで、社会全体のあるべき姿を描き出すとしたものである。

だが、ポピュリズムはそのような全体的な将来構想をもたない。あるのはただ、「雇用」「移民」「テロ」など、その時点でその社会がもつ特定の政治的アジェンダに限定した語りかけの言説である。だからポピュリストは、あれこれの不特定イデオロギーに仮託して世界観的な厚みの欠如を繕つくろおうとするのである。当然ながら、その結びつきに方向性や一貫性があるわけではないので、<sup>①</sup>借用物は時と場合に応じて自由に変幻することになる。ポピュリズムを理解することが難しいのは、この融通無碍ゆうつうむがひな性格のゆえである。

ポピュリズムの蔓延が社会を分断する結果になるのも、同じ理屈からである。ポピュリストは社会に多元的な価値が存在することを認めない。特定の狭い政治的アジェンダに対する賛成か反対かで有権者を二分し、そこに道徳的な善と悪を明快に割り振る。投票による過半数を握った時点で、彼らは全国民の代表者となり、民主主義の正統性をまとった善の体現者であることになる。すると、これに反対する者は、すべて不道徳で腐敗した既存勢力であり、国民の敵と見なされるようになる。トルコのエルドアン大統領の発言に、「われわれは人民だ。あなたはいったい誰だ」(We are the people. Who are you?) というのがあるが、まさにポピュリズムの名言詞である。このように全体を僭称けんしょうすることが、異端の特徴である。

しかし、成熟した民主的な社会にあつては、人びとの価値観は多様であり得る。一つの論点については賛成でも、別の論点については反対、という重層的な判断がビッグデータのように幾重にも集積してはじめて、社会の共通意志を付度そんぞくすることができるようになるのである。現代の投票制度は、そこまできめ細かく民意を問うようにはできていないので、いったん政権の座に就いた者はフリーハンドを得たことになる。

一つの社会に複数の中心を置いて権力を分散させ、特定の集団が覇権を握らないように配慮するのは、多元主義が培ってきた知恵である。こうしたチェック&バランスも、ポピュリストには鬱陶うつとうしいだけである。自分人びとの全面的な支持を得て善を行おうとしているのに、その自分の手を縛る不当な制約だ、と映るからである。

常識的な抑制や均衡に対するこうした反発は、しばしば **A** 主義と一体になって表現される。どちらも、既成の権力や体制派のエリートに対する大衆の反感を梃子てこにした勢力だからである。そのためポピュリストは、服装から言葉遣いに至るまで、あくまでも自分が専門家集団の外部に立つアマチュアであることを強調する。プロの政治家はみな腐敗した権力構造の虜で既得権益を守ろうとするが、素朴な民衆はいつも騙されて搾取される被害者だ、そして自分こそそういう民衆全体の利益代表者だ、という設定である。

ポピュリズムが容易に権威主義へと転じ、野党やメディアや司法といった批判的機能を封殺しようとするのも、全体性主張の論理からして当然の道理である。イタリアのベルルスコーニ元首相は、選挙で選ばれていない裁判官が「赤い法服」(左翼主義)を纏まとって自分の邪魔をする、という批判を繰り返した。発足したばかりのトラン

プ政権も、特定宗教を狙い撃ちにした入国禁止の大統領令を出し、連邦裁判所がそれを差し止めると、裁判官への侮蔑や司法の独立に対する不満を露わにした。

ポピュリストは、たとえぎりぎりの過半数であっても、ひとたび権力を a 掌握すると、あとは有権者をすべて「サイレント・マジョリティ」と見なして自己への同調者に算入する。そうすると、自分は国民の声を代弁する存在となるから、**B** することができるようになるのである。これは前世紀前半を覆った全体主義の歴史においても、あるいは今世紀の欧州や中南米においても見られる、ポピュリストに共通の手法である。部分が全体を僭称するとき、暴走を制御するはずの内部規範は無力化され、排外主義が人びとを支配するようになる。

ちなみに、「サイレント・マジョリティ」は、ニクソン大統領が「ベトナム反戦運動などの面倒な政府批判に加わらず、静かに自分を支持してくれている人びと」という意味で使った言葉である。トランプ大統領にとっては、体面を気にして表に出てこない自分の支持者たちを意味していた。もちろん、それらの人びとが実際に何を考え誰を支持しているかを知るすべはないので、政治家には使い勝手のよい言葉である。

だが、ポピュリズムの蔓延を理解するには、こうした政治制度の面だけでなく、そこに表出された人びとの主観的な熱情を理解する必要がある。なぜ良識ある普通の市民が、いともたやすくポピュリズムの波にさらわれてしまうのか。<sup>③</sup>この疑問は、ポピュリズムを単に強烈な指導者に踊らされた大衆の一時的な反動として片付けている限り、解くことができない。

ポピュリズムのもつ熱情は、本質的には宗教的な熱情と同根である。社会的な不正義の是正を求める人びとは、かつては教会や寺院などの宗教的な組織にその集団的な表現経路を見いだしていた。既成宗教が弱体化して人びとの発言を集約する機能をもたなくなった今日、その情熱の排出に代替的な手段を与えているのがポピュリズムなのである。この点で、ポピュリズムは反知性主義と同じく、宗教なき時代に興隆する代替宗教の一種態である。

ポピュリズムの宗教的な性格は、その善悪二元論にも明らかである。政治は本来、妥協と調整の世界である。一方的な善の体現者もいなければ、一方的な悪の体現者もない。しかし、ひとたび全国民の「声なき声」を代弁する立場を襲うと、彼らの闘争には「悪に対する善の闘争」という宇宙論的な意義が付与され、にわかに宗教的な二元論の様相を帯びる。だからポピュリストの発言は、妥協を許さない「あれかこれか」の原理主義へと転化しやすいのである。

**b** 市井の人びともこれを歓迎する。善悪二元論的な世界理解は、口頃抱いている不満や怒りを、たとえ争点とは事実上無関係であっても、そこに集約させてぶつけることができるからである。それによって人びとは、自分にも意義ある主体的な世界参加の道が開かれていることを実感する。つまり、ポピュリズムは一般市民に「正統性」の意識を抱かせ、それを **c** 堪能する機会を与えているのである。人びとは、匿名であるままに、みずから安全な立場に置いた上で、この正統性意識を堪能することができる。

民主主義という概念は、本来いくつもの要素で構成されている。**C** このことを忘却して部分が全体を僭称するとき、正統性は内側から蝕まれる。

(森本あんり『異端の時代——正統のかたちを求めて』による)

問一 傍線部 a 「掌握」、傍線部 b 「市井」、傍線部 c 「堪能」の読みをカタカナで記せ。

問二 傍線部①「借用物は時と場合に応じて自由に変幻することになる」の説明として、もっとも適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号を記せ。

ア ポピュリズムは個々の論点に応じて立場の異なる識者の助けを借りながら、よりよい政策を追求していくということ。

イ ポピュリストは考え方が柔軟であり、個々の論点に応じ、自らの社会構想に適合するものを、既存の主義・主張から取捨選択して大衆に提示するということ。

ウ ポピュリズムは既成の権力や体制派エリートに対抗し、政治のアマチュアである大衆の見解を代表し、引用していくため、その政治思想は可変的であるということ。

エ ポピュリズムは人びとが目指すべき理想的な社会の全体像に関する構想を持たないため、その都度様々な主義主張を接ぎ合わせて間に合わせるようになるということ。

オ ポピュリズムは政治・経済から文化・芸術までさまざまな論点を扱うため、旧来の政治的なイデオロギーに立つ論者から見ると、立場によって論点を変えているように見えてしまうということ。

問三 空欄 A にあてはまることばを本文中から探して記せ。

問四 空欄 B にあてはまる表現としてもっとも適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号を記せ。

ア 民衆をまさに多元主義の名において代表

イ 大衆をまさに共通意志の名において支配

ウ 反対者をまさに民主主義の名において圧倒

エ 有権者をまさに権威主義の名において搾取

オ エリートをまさに全体主義の名において批判

問五 傍線部②「この疑問は、ポピュリズムを単に強烈な指導者に踊らされた大衆の一時的な反動として片付けている限り、解くことができない」の理由としてもっとも適切なものをア～オの中から一つ選び、その記号を記せ。

ア プロの政治家に冷笑されていた大衆の政治的見解がポピュリズムによって賞賛されて、大衆は自分と異なる意見を異端として糾弾できるから。

イ 複数の中心を置いて権力を分散させていた民主主義の仕組みがポピュリズムによって失効し、人びとは一つの中心のもとで安定した世界観を獲得できるから。

ウ ポピュリズムの台頭によって、宗教に批判的だった既存の体制派エリートが退場し、復活した宗教組織を通じて一般の人びとも発言できるようになったから。

エ ポピュリズムは既成宗教の世界観を積極的に取り込み、社会に蔓延する悪に対して善の戦いを指導し、宗教なき時代において新たな信仰の対象となっているから。

オ 善悪二元論という世界を理解する枠組みを使うことによって、ポピュリズムは弱体化した宗教の代わりに人びとに日常生活の不満のはけ口を提供しているから。

問六 空欄

C

には次のア、イ、エの四つの文が入る。これを適切な順序で並べ替えることのようにするか。順番にその記号を記せ。

ア 統治者は、全国民の排他的な代弁者ではない。

イ つまり、「多数者」といってもやはり全体ではなく部分である。

ウ したがってその統治は道徳的な闘争ではなく、統治者への反対も不道徳ではない。

エ 多数決原理はそのうちの一つにすぎず、投票による民意は時代を超えたより大きな多数者を代弁することができない。

問七 本文の筆者の主張と合致しないものを、次のア、イ、エの中から一つ選び、その記号を記せ。

ア ポピュリズムに対して、多様な価値観を受容し、権力を分散させることは、民主主義的な政治のために人間が培ってきたものである。

イ ポピュリストはひとたび選挙で統治者に選ばれると、複雑で重層的な民意を無視し、自分が民意を体現している主張して、異論を民意に背くものとして非難する。

ウ ポピュリストが、自分が専門家集団の外部に立つアマチュアであることを強調するのは、既成の権力や体制派のエリートに対する大衆の反感を味方にするためである。

エ ポピュリストは、特定の狭い政治的アジェンダに対する賛成か反対かで有権者を二分し、そこに道徳的な善悪を明快に割り振るので、ポピュリズムの蔓延は社会を分断することになる。

オ ポピュリストの全体性主張の論理とは、個人よりも全体の目標を最優先にする全体主義の主張を踏襲したもので、それゆえ両者は野党やメディアなどの批判的言論を封殺するという共通点を持つ。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

(松本武彦『美の考古学——古代人は何に魅せられてきたか』による)

問八 傍線部 a「ロジ」、傍線部 b「イアツ」、傍線部 c「シエウトウ」のカタカナにあてはまる漢字を楷書で記せ。

問九 空欄 A に入るもつとも適切な文を、次のア～オの中から一つ選び、その記号を記せ。

ア すべてのヒトに共有された美を感じる心は、生物学的な淵源に由来する可能性が高いのである  
イ ヒトの美的感覚は、「脳」の高度な発達に規定されており、他の動物種の性向とは無関係なのである  
ウ ヒトを感じるすべての美は、生物学的特点に規定され、異性の確保という目的に関係しているのである  
エ ヒトがもつ美を感じる心は、個々の文化に固有の起源をもち、民族ごとに大きく異なっているのである  
オ 進化の過程でヒトと分かれた生物種には、異なる身体が作り出す異なった「美」の感覚を認めることができるのである

問十 傍線部①「文化として」「美」を物質に表現するのはヒトに固有の行為としてはじまったのである」の説明としてもつとも適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号を記せ。

ア 異性をひきつける身体のかたちをもたなかったことで、ヒトはそれを代替するものを体の外に作り出さざるを得なかったということ。  
イ チンパンジーが無意識に見いだしていた「無用の用」としての「美」に意味を見だし、異性をひきつけるためだけの道具を作り出したのはヒトだけであるということ。  
ウ 相手を引きつける刺激を身体の一部として進化させた生物とは異なり、ヒトだけが相手に働きかける刺激を身体の外側に作り出す能力を生得的に獲得したということ。  
エ 特定の感覚的な刺激に反応するのは生物全体に通底するが、ヒトだけが相手の反応を引き出すために意図的に刺激を生み出す器物を作り出すようになったということ。  
オ 生物が自分をアピールする特徴を身体に発達させた一方で、ヒトだけが生物学的遺伝の影響をまったく受けずに後天的能力だけで自己アピールをしているということ。

問十一 空欄 B、C、D には、それぞれ別の語が入る。次のア～オの中からそれぞれ一つ選び、その記号を記せ。

- ア 科学
- イ 社会
- ウ 心理
- エ 生物
- オ 物理

問十二 空欄 E にあてはまる表現としてもつとも適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号を記せ。

- ア 人工的な美の鑑賞能力
- イ 美の創出と操作の能力
- ウ 普遍的な美の認識能力
- エ 身体的美を拒絶する能力
- オ 既存の美を利用し展開する能力



問十三 本文の内容と合致するものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号を記せ。

ア チンパンジーも、対称形に注目するなど美を感覚する能力をもっており、その能力は思考や学習を通じて親から子へと継承されていく。

イ 感覚器官を通して知覚される特定の特性に引きつけられる例は生物界で広く見られるものだが、刺激に慣れて感覚が麻痺した現代のヒトはこの生物としての反応がすでに失われている。

ウ ヒトが石斧や石ヤリなどを作る際、正確な左右対称の形に魅力を感じる点においてヒトと霊長類の共通点があるが、完全な対称形を作り出す意識も両者は共通している。

エ 巨大な建築物を建造して見る人を圧倒するなど、特定の知覚によって心が刺激される効果をヒトは積極的に利用し、集団の中で自分の立ち位置を有利にもつていくための造形や造作を考案した。

オ ホモ・ハイデルベルゲンシスが作った石斧は美しい石材を丁寧に打ち欠いて左右対称に仕上げ、「無用の美」を備えているが、実用品としての機能が勝っており美を物質に表現したものとは言えない。

〔以下余白〕

問七

問六

問五

問四

問三

問二

問一

主義

c

a

b

<R02142081>

受験番号	万	千	百	十	一
カナ氏名					
氏名					

(所定欄以外に番号・氏名を書いてはならない)

2020年度

国語

(解答用紙)

No.  /

採点欄

(この線で二つ折りにして書きなさい)

問十三

問十二

問十一

問十

問九

問八

B

C

D

c

a

b

2020年度

国語

(解答用紙)

No.  /

採点欄